

# 令和2年度伊勢崎市文化協会事業予定

伊勢崎市文化協会では、一年間を通して下記のような行事を行います。  
各期とも入場無料ですので、皆様お気軽にご来場ください。



# 文化、せさき



伊勢崎河岸の石灯籠／撮影者 岡崎 悦宙

## 伊勢崎市文化協会

開催日		【部 門】 事業名	会 場
新型コロナウイルス感染 拡大防止の為中止		【郷土芸能】 華蔵寺公園 花まつり郷土芸能発表会	華蔵寺公園野外ステージ
		定期総会	プラザ・アリア
第1期	令和2年 9月	4日(金)～ 6日(日) 【美術】 総合作品展	境総合文化センター 一般展示室他
		6日(日) 【洋舞】 洋舞フェスティバル	境総合文化センター 大ホール
		6日(日) 【茶道】 茶会	境総合文化センター 和室他
		12日(土) 【諸芸】 発表会	境総合文化センター 大ホール他
第2期	令和2年 11月	14日(土) 15日(日) 【自然】 総合展	境総合文化センター 一般展示室他
		14日(土) 【音楽】 市民音楽祭	境総合文化センター 大ホール
		15日(日) 【郷土芸能】 郷土芸能大会	境総合文化センター 大ホール
第3期	令和3年 2月	5日(金)～ 7日(日) 【書道】 書道展	境総合文化センター 一般展示室他
		7日(日) 【歌謡】 発表会	境総合文化センター 大ホール
		13日(土) 14日(日) 【文学】 文学祭	ふくしプラザ 展示ギャラリー他
		13日(土) 14日(日) 【華道】 いけばな展	ふくしプラザ ワークショップ
		14日(日) 【民謡民舞】 民謡民舞発表大会	文化会館 小ホール
第4期	令和3年 3月	14日(日) 【邦楽舞踊】 邦楽舞踊のつどい	文化会館 大ホール
		18日(木)～ 21日(日) 【写真】 写真展	文化会館 第4・5展示室
		21日(日) 【吟剣詩舞】 吟剣詩舞の集い	文化会館 小ホール

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止または延期となる可能性があります。

### 編集後記

伊勢崎市文化協会は平成十九年五月に四市町村の文化協会が統合し、新生「伊勢崎市文化協会」としてスタート致しました。以来、十三年が過ぎて多くの会員がそれぞれ市民文化の向上発展を目指して研鑽を続けています。時代も平成から令和に変わり、新しい時代にふさわしい活動を続けて成果を上げています。

しかし、令和元年度は新型コロナウイルスの流行により、第四期のイベントが中止をせざるを得ないことになり誠に残念に思いました。

会員の皆様の熱意溢れるご協力で編集委員一同心より感謝申し上げます。ここに「文化いせさき」を発行出来ることは大変意義深いことであり、十五部門という多文化の集まりの中で、目標は常に高みを目指し切磋琢磨している姿は相乗効果もあり、生涯学習として素晴らしいことと思います。

この文化活動が円滑に行えるのも、賛助会員の皆様のご支援、ご協力の賜物です。併せて、市長、教育長並びに事務局の皆様が熱意のこもったご協力をいただきました心から感謝申し上げます。

橋本 記

# 『蘇る文化会館、甦れ文化活動』



伊勢崎市文化協会  
会長 諏訪 勝美

令和二年となり、待ちに待った伊勢崎市文化会館の改修工事もすべて完了し、新年度からは新装した文化会館での行事が開催できる事を期待し、希望に胸躍らせ習練に励み、供覧が近づくにつれ緊張に胸をときめかせ、そのときを心待ちにして居りましたが、近年は大災害に度々見舞われ、漸く立ち直れるかと思う矢先、今年もまた、心身未曾有の災難に見舞われることとなりました。

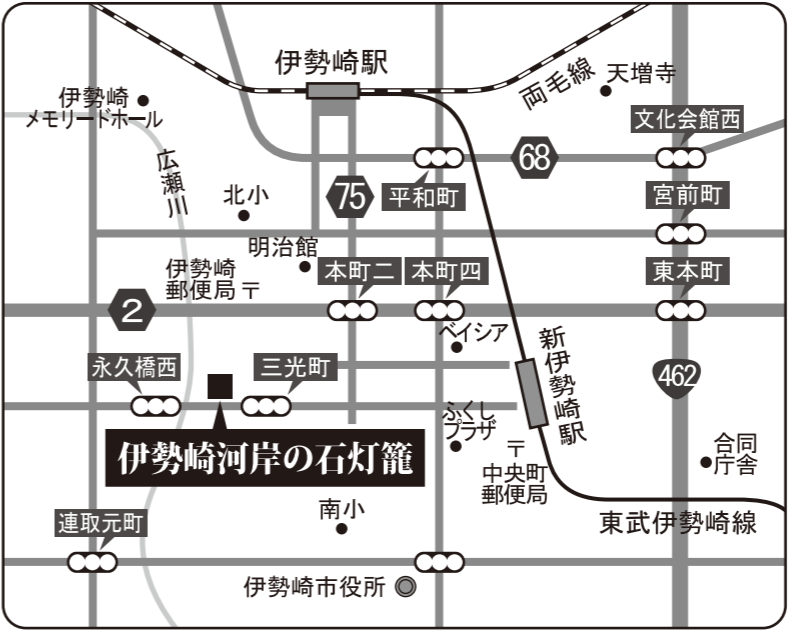
新年号、「令和」の願いもむなしく、新型コロナウイルスの脅威に世界の国々がさらされ、市の要望により、三月一日のふくしプラザの行事が中止との意向も踏まえ、伊勢崎市文化協会も二月二十一日の正副会長会議により中止が続行か各実行委員長に委ねられ、三月五日の写真部門に続き、七日の諸芸、八日の吟剣詩舞、十五日の邦楽部門など、各実行委員長から中止との報告があり、第四期の事業のすべての活動が停止状態となりました。その後、四月五日の華蔵寺公園花まつり郷土芸能部門も中止との連絡も入り、県内でも感染者が確認され、各市より公共施設の使用自粛が発令され、会議やサークルの教室活動までが開けなくなり、野外での活動も制限される事となりました。会員の皆様からは、今まで発表に向けて精魂を傾け練習や準備も整い、舞台部門も展示部門も開会が近づくにつれ、緊張と期待にその目を待ち望んでいましたが、習熟

した技を披露できず誠に残念である消散の嘆きでありました。世界中の自粛モードに影響を受け、文化活動が出来ず、サークル活動も崩壊的狀態に陥り、会員の不安が広がる中、オリンピックにも大きな影響を与え、様々な障害が生まれた結果、三月末ぎりぎりになり二〇二〇東京オリンピックも一年余りの延期との発表がありました。私達も、全世界の人達もコロナウイルスの早期の終息を強く待ち望んでおります。

また、新年度となり文化協会十五部門全ての会員の皆様に活動開始に当たり、過日の文化活動の自粛のご協力に心より感謝いたします。なお、令和二年度には、今まで経験したことのない苦境の中、且、ころより文化活動で鍛えた情熱と精神、そして仲間との友情の絆を糧に健康に留意し、この苦難を全員で乗り切り前回発表できなかった作品をなお一層の習練と研鑽を積み重ね、以前にも増して、ご観覧の皆様にご喜んでいた作品に仕上げ、各実行委員長と共に会員一同一丸となり、熟練された妙技を披露し、明るい未来を見つめ私達の文化活動から伊勢崎市が元氣になれますよう、ご健闘を期待しております。

## 【表紙説明】 伊勢崎市指定重要文化財 伊勢崎河岸の石灯籠

江戸時代には、現在の広瀬川の永久橋東岸橋詰のあたりに舟着場になっており、喜兵衛河岸、孫右衛門河岸とよばれていました。この石灯籠は、文政二年（一八一九）に、世話人大嶋儀右衛門・村田利兵衛、願主武孫右衛門・瀬川太兵衛により河岸に建てられたものです。灯籠の竿の部分に「大杉大明神・住吉大明神」と刻み込まれているように、航路の安全を願って献じたご神灯で、同時に夜間や悪天候の際の航路標識として、現在の灯台の役目を果たしていました。基礎部には、寄進した荷主や舟主たちの名前が刻まれており、市の産業史・交通史上の貴重な資料です。



## 伊勢崎市文化協会 各部門のあゆみ

### 華道部門

#### 花に教えられる日々

新井 マリ子

第十三回いけばな展を、二月八日（土）、九日（日）の二日間、ふくしプラザのワークショップで開催いたしました。

事務局の皆様が、手際よく会場作りをして下さいましたので、午後二時から各流派の活け込みが始まりました。季節柄、梅や桜、れんぎょうなどの枝で蕾がほころび始め、下草も可愛らしく春を告げる花々で華やかな会場になりました。早春の風は少し寒かったとは言え、天候に恵まれた二日間でしたので、大勢の皆様が観に来て下さいました。

「これは斬新な活け方ね」とか、「こちらは格式があつて奥ゆかしいね」などと、ひそひそと感想をささやき合いながら鑑賞して下さいながらの話の中にも花が咲いて会場はなごやかな雰囲気になりました。カメラのシャッター音も会場を活気づかせておりました。「この花の名前は？」と聞いかける人も多かったのですが、それぞれの作品のところに、花材名が入れたら嬉しかったです。伝統文化の「華道」を一人でも多くの人に「習ってみたい」と



思っていただけのように願いつつ、会員は日々花と向き合い、「花に教えられ」「花になぐさめられ」「花に元気をいただき」手にする花の良さをどう引き出せるかと努力しております。

ご来場して下さいました人の心を少しでも、揺さぶることができたら幸いです。最後に今回のいけばな展に多大なお力添えを下さった事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。会員一同これからも精進して参ります。

### 茶道部門

#### 令和元年度（第十三回）秋の茶会に参加して

有川 よし子

令和に入り、四ヶ月余り、心新たに各々が、この元号を迎えた事と思えます。例年に慣れ、今年度も文化協会



事業の一環として茶道部門も参加させて頂きました。次から次へと、新聞テレビラジオ等から地球温暖化による気候変動等での各地における災害耳を覆いたくなる事件等に、どうしたものかと心痛める人の多い昨今ですが、この夏の猛暑をやっと乗り越えた、九月十五日（日）に、令和元年度文化協会事業第一期の美術・洋舞・茶道の三部門の発表日となりました。

その日は残暑を色濃くした、小春日和の日柄でした。二階の和室三室を茶席に設けて、もう十三回ともなりますと、各流派共前日より今年と、目を見張る、素晴らしいお席ができておりました。前記いたしました通りの日和のため、席の担当者は涼を取るため、試行錯誤し涼やかなお席に見受けられましたが、席中でのお客様の様子は、少々残暑を感じておられた様でした。退席後のお客様が異口同音「暑い、暑かった」の連発でしたが、皆口々に「でも美味しかった」と心

### 文学部門

#### 笑いの効用

星 瑛子

地味い言葉を使いました。一昨年前より事務局の配慮で寄り付きを用意していただいたので、各茶席の人数制限もでき、また履物等の整理もされ、落ち着いたお茶会を執り行う事が出来ました。

また、八日には落語家の林家つる子さんをお招きし「落語で笑ってイキイキ健康」と言う演題で講演会を開催しました。は、にこやかに呼びかけました。

「皆さん。はい、一緒に！両手を出して右手の方を見ましょう。そこに居る人が言うんですよ。皆さん大きな声で一緒に。隣の空気に困りが出来たってねえ。はい。左手を見て「へえ」。会場に皆の大声が響き爆笑が湧き上がりました。と、こんな具合にたつぷり一時間、会場の人たちを笑いの渦に巻き込みながらいかに笑いが人の心を和ませ、健康に良い影響をもたらすかを、面白おかしく話して下さいました。



私達は、日頃の慌ただしい生活の中で、ともすれば、ぎすぎすした人間関係にとまどったりして、日常生活を過ごすことができないから、またひと味違った潤いのある人生を送ることができるとは、ないかと思いました。寒さの中、会場へつめかけて下さった大勢の皆さんが温かい気持ちで、そして、笑顔で帰って行かれたことが、とても大きな収穫でした。

## 音楽部門

共に繋いでいきましょー

池田 昌子

令和元年十一月十六日(土)、第十三回伊勢崎市民音楽祭が、境総合文化センターで行われました。今回、音楽部門は、器楽四団体、合唱十三団体の参加をいただき、最後のプログラムは、全員合唱の「見上げてごらん夜の星を」でした。

音楽部門の舞台は、個性的で華やかで、明るく広がる歌声とアコーディオン、ハーモニカ、バンド演奏、オカリナ等、思わず手拍子をとる、楽しい演奏が続きます。何より音楽は、人のこころを穏やかに揺らします。出番を待つ団員、終ってホッとした団員が、お客様とともに舞台を見つめ、お互いの音色に耳を澄ましています。年に一度ですが、音楽部門の皆様



が一堂に会して、日ごろの成果を発表する機会として、また、交流の輪を広げる機会として、この市民音楽祭は、大切な存在です。市民音楽祭を盛り立て、十四回、十五回と繋いでいけるよう、共に活動してゆきたいと願っています。

## 歌謡部門

船戸 省三郎

恒例年間発表会を終えて

私達歌謡部門は、一ステージ一人会員の皆様が一人でも多く発表できるよう、植木部門長を中心に、部門十三団体の会長の協力を得て、第二十七回発表会を令和二年二月九日(日)、境総合文化センターで、一五八名の参加者により盛大に行うことができました。



諏訪文化協会会長より暖かい応援の挨拶をいただいた席上で、一曲歌い上げていただきました会場を盛り上げていただきました。練習に

## 邦楽舞踊部門

### 苦渋の決断

川島 かずみ

皆様におかれましては日々新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に追われ、心休まぬ毎日を送りのことと存じます。

近年、日本を取り巻く経済環境がなかなか改善されない状況にある中、追い打ちをかけるように私達の生活を脅かすウイルス！今年には令和の子年、「繁栄」の年ともいわれ「増える」という意味合いがあり、草木の生命をはじめ

とした、命が誕生しようとする意味を持つのですが、どういうわけか予想もつかない違った方向に向かっているようで恐怖を感じます。



そういつた状況の中、新型コロナウイルスを背負ってまで発表会を行うことは難しく、まずは人の命の安全確保が優先と考へ、「第十二回邦楽舞踊のつどい」の発表会を中止にする事を役員一同一致の上、決断させていただきました。

私たちが「邦楽舞踊のつどい」はこれからも伊勢崎文化の光を絶やさないためにも、より一層日々精進いたしました。来年の発表会に繋げていきたいと思ひます。最後に日々増える新型コロナウイルスの一日も早い終息を願うばかりです。



## 吟剣詩舞部門

山下 美津子

毎年開催している吟剣詩舞の集いは、三月八日(日)、境総合文化センターで行われる予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、やむなく、今年度は中止することになりました。このため、今年度の活動報告ができない状況ですが、これを機に、吟剣詩舞の魅力について再確認してみたいと思ひます。

吟剣詩舞は、我が国の伝統芸能であり、日本古来の漢詩や和歌などに節をつけて詠う「吟詠(詩吟)」と吟詠に合わせて舞う「剣舞」と「詩舞」の総称です。



吟剣詩舞の魅力は、大きく次の三点に集約されるでしょう。  
①我が国の古典、歴史を学ぶことにより深い教養を身につけることができる。

## 郷土芸能部門

### 年間行事を終えて

糸井 清春

郷土芸能大会は、令和元年十一月、境総合文化センターにおいて、約六百名の会員によりお蔭様で無事盛況のうちに終えることができました。これもひとえに事務局を始め関係各位、会員の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。式典では、伊勢崎市長始め多くの皆様に御出席いただき、改めお礼申し上げます。



今回も多少の課題は残りますが、郷土芸能大会は会員にとって、一年の行事の中で最も意義ある大会だと思ひます。

そして、各団体とも自分の受け持つ役割に責任を持ち、真剣に演じている姿は素晴らしかったと思ひます。

また、今年も華蔵寺公園「花まつり」も盛況のうちに終える事ができました。お客様にもたくさ

## 洋舞部門

### 洋舞フェスティバル

下田 かず江

まだまだ暑さの残る九月十五日(日)、境総合文化センターにて令和初めての洋舞フェスティバルを、二十一のサークルで開催させていただきました。

各サークルは朝早くから大きな衣装荷物を抱え、会場へ集合いたしました。既に会場には沢山の出演サークルの皆様のご家族、ご友人達がお待ちしておりました。

開会式では五十嵐市長を始め、沢山の来賓からお祝辞を賜り、頑張らなくてはと心新たにいたしました。

そして愈々、開演です。普段では到底考えられない優美な衣装に、素敵な髪飾りを着け別人かな？と思える厚化粧の変身ぶりに、隣同士で顔を見合わせておりま

どのサークルも、指導いただ



ている先生の教えを守り発表させていただきました。綺麗に、美しく、美しく踊れました。

舞台の袖で、ドキドキしながら待つてる時の緊張感。そして踊り終えて、会場の皆様から拍手をいただいた時の感動と安堵感をまじ、今年も味わせていただきました。

今後も健康に留意し、また、来年に備え、ご来場いただいている皆様「ハワイに行って、見てみたい」と思っていただけ様なフラダンスを、歌って踊りたくなるレクダダンスを目指し精進したいと思ひます。これからも先生方のご指導をいただき、頑張ります。

今年も高崎のレクダダンスサークルの方々が友情出演をして下さり、何とも珍しいメキシコの踊りで花を添えて下さいました。無事に各サークル、会場の皆様で復興ソング「花は咲く」を合唱し、フィナーレとなりました。何時ものことでありますが、開催にあたり準備等で支えて下さった事務局の皆様、役員の皆様

## 音楽部門

共に繋いでいきましょー

池田 昌子

令和元年十一月十六日(土)、第十三回伊勢崎市民音楽祭が、境総合文化センターで行われました。今回、音楽部門は、器楽四団体、合唱十三団体の参加をいただき、最後のプログラムは、全員合唱の「見上げてごらん夜の星を」でした。

音楽部門の舞台は、個性的で華やかで、明るく広がる歌声とアコーディオン、ハーモニカ、バンド演奏、オカリナ等、思わず手拍子をとる、楽しい演奏が続きます。何より音楽は、人のこころを穏やかに揺らします。出番を待つ団員、終ってホッとした団員が、お客様とともに舞台を見つめ、お互いの音色に耳を澄ましています。年に一度ですが、音楽部門の皆様



が一堂に会して、日ごろの成果を発表する機会として、また、交流の輪を広げる機会として、この市民音楽祭は、大切な存在です。市民音楽祭を盛り立て、十四回、十五回と繋いでいけるよう、共に活動してゆきたいと願っています。

## 歌謡部門

船戸 省三郎

恒例年間発表会を終えて

私達歌謡部門は、一ステージ一人会員の皆様が一人でも多く発表できるよう、植木部門長を中心に、部門十三団体の会長の協力を得て、第二十七回発表会を令和二年二月九日(日)、境総合文化センターで、一五八名の参加者により盛大に行うことができました。



諏訪文化協会会長より暖かい応援の挨拶をいただいた席上で、一曲歌い上げていただきました会場を盛り上げていただきました。練習に

## 邦楽舞踊部門

### 苦渋の決断

川島 かずみ

皆様におかれましては日々新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に追われ、心休まぬ毎日を送りのことと存じます。

近年、日本を取り巻く経済環境がなかなか改善されない状況にある中、追い打ちをかけるように私達の生活を脅かすウイルス！今年には令和の子年、「繁栄」の年ともいわれ「増える」という意味合いがあり、草木の生命をはじめ

とした、命が誕生しようとする意味を持つのですが、どういうわけか予想もつかない違った方向に向かっているようで恐怖を感じます。



そういつた状況の中、新型コロナウイルスを背負ってまで発表会を行うことは難しく、まずは人の命の安全確保が優先と考へ、「第十二回邦楽舞踊のつどい」の発表会を中止にする事を役員一同一致の上、決断させていただきました。

私たちが「邦楽舞踊のつどい」はこれからも伊勢崎文化の光を絶やさないためにも、より一層日々精進いたしました。来年の発表会に繋げていきたいと思ひます。最後に日々増える新型コロナウイルスの一日も早い終息を願うばかりです。



## 吟剣詩舞部門

山下 美津子

毎年開催している吟剣詩舞の集いは、三月八日(日)、境総合文化センターで行われる予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、やむなく、今年度は中止することになりました。このため、今年度の活動報告ができない状況ですが、これを機に、吟剣詩舞の魅力について再確認してみたいと思ひます。

吟剣詩舞は、我が国の伝統芸能であり、日本古来の漢詩や和歌などに節をつけて詠う「吟詠(詩吟)」と吟詠に合わせて舞う「剣舞」と「詩舞」の総称です。



吟剣詩舞の魅力は、大きく次の三点に集約されるでしょう。  
①我が国の古典、歴史を学ぶことにより深い教養を身につけることができる。

## 郷土芸能部門

### 年間行事を終えて

糸井 清春

郷土芸能大会は、令和元年十一月、境総合文化センターにおいて、約六百名の会員によりお蔭様で無事盛況のうちに終えることができました。これもひとえに事務局を始め関係各位、会員の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。式典では、伊勢崎市長始め多くの皆様に御出席いただき、改めお礼申し上げます。



今回も多少の課題は残りますが、郷土芸能大会は会員にとって、一年の行事の中で最も意義ある大会だと思ひます。

そして、各団体とも自分の受け持つ役割に責任を持ち、真剣に演じている姿は素晴らしかったと思ひます。

また、今年も華蔵寺公園「花まつり」も盛況のうちに終える事ができました。お客様にもたくさ

## 洋舞部門

### 洋舞フェスティバル

下田 かず江

まだまだ暑さの残る九月十五日(日)、境総合文化センターにて令和初めての洋舞フェスティバルを、二十一のサークルで開催させていただきました。

各サークルは朝早くから大きな衣装荷物を抱え、会場へ集合いたしました。既に会場には沢山の出演サークルの皆様のご家族、ご友人達がお待ちしておりました。

開会式では五十嵐市長を始め、沢山の来賓からお祝辞を賜り、頑張らなくてはと心新たにいたしました。

そして愈々、開演です。普段では到底考えられない優美な衣装に、素敵な髪飾りを着け別人かな？と思える厚化粧の変身ぶりに、隣同士で顔を見合わせておりま

どのサークルも、指導いただ



ている先生の教えを守り発表させていただきました。綺麗に、美しく、美しく踊れました。

舞台の袖で、ドキドキしながら待つてる時の緊張感。そして踊り終えて、会場の皆様から拍手をいただいた時の感動と安堵感をまじ、今年も味わせていただきました。

今後も健康に留意し、また、来年に備え、ご来場いただいている皆様「ハワイに行って、見てみたい」と思っていただけ様なフラダンスを、歌って踊りたくなるレクダダンスを目指し精進したいと思ひます。これからも先生方のご指導をいただき、頑張ります。

今年も高崎のレクダダンスサークルの方々が友情出演をして下さり、何とも珍しいメキシコの踊りで花を添えて下さいました。無事に各サークル、会場の皆様で復興ソング「花は咲く」を合唱し、フィナーレとなりました。何時ものことでありますが、開催にあたり準備等で支えて下さった事務局の皆様、役員の皆様

## 自然部門

### 第十二回自然部門総合展を終えて

大和 洋司

この展示会は、当部門唯一最大の合同行事で、今年十一月十六日(土)・十七日(日)に境総合文化センターで開催しました。展示の概要は、九団体七十二人が合わせて三百三十四点を出品し、盆栽三団体二十九人百九十四鉢、菊花九人十四鉢、蘭蕙六人三十二鉢、石仏写真七人二十四点で、前年より七十二鉢増加しました。

会場は、星霜を重ねた風情ある盆栽、手の平に乗る趣のある小品盆栽、山野草は秋色に染まり、菊や蘭花が薫る中、石仏写真は、りりしくも穏やかな石像の表情が微笑ましい。今年も他の部門との同時開催で、両日多数の来場者で賑わい、作品に見入っていました。



総合文化センターで開催いたしました。文化協会書道部門に所属している十九団体二百二十名が出品しました。今までの書展の中では二番目に多い出品だと思えます。千二百四十八名の書道愛好者にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。



この書道展は、それぞれの会員が日ごとの学習の成果を発表する場であり、一般公募展と違って審査もないので、会員各自が形にはまらない自由な作品を出品できることが魅力でもある。書道展で、毎年楽しみにしている人が多いようです。

今回出品された作品を見ると漢字作品、仮名作品が多く、他に漢字仮名交じり書・大字書・篆刻作品も出品されました。墨象と刻字作品は出品されませんでした。書道展を開催する目的の一つは、一般市民に見ていただきたいという気持ちもありますが、出品者同士の研鑽の場だとも思いますが、お互いに切磋琢磨して仕上げた作品を鑑賞し合い、批評し合う

このほか、通年の活動では各団体(十団体)は、個別に春秋の展示会、撮影会、探鳥会、団体交流、例会、研究活動を通して研鑽。文化協会の事業費助成を原資として活用し、この一年の事業計画は全て達成しました。年号も平成から令和になりましたが、私達は常に自然を慈しみ地道ながらも趣味を通して仲間と共にこれからも活動を続けて行きます。

## 諸芸部門

### 高齢者から若者まで楽しめる趣味

小保方 重吉

人生には、上り坂、下り坂、そしてまさかという坂があります。

例年行われる境総合文化センターの第一土曜日に開催されているが、毎年インフルエンザ流行の時期と重なり、ドタキャンで参加者の変更があり、苦労していたことから、時期の変更を打診していました。そして漸く三月に変更になり、準備を進めていたところ、新型コロナウイルスの感染騒ぎで中止となりました。予期しないまさかとなってしまいました。

囲碁の戦いでも、十中八九勝利と思っても、このまさかはありません。人類は常にまさかと対峙しているのかもしれない。予定していた活動報告ができなくなったので、趣味としての囲碁の楽しみ方に触れてみたいと思います。

人生百年時代と言われる現代社会、仕事を引退した後の過ごし方が重要になってきます。健康で自分本来の趣味をみつけ、いかに楽しいときを過ごすのか。シャレで香気高齢者(後期高齢者)と名付けた人もいます。



囲碁は、普段あまり使わない左脳を使うゲームと言われ、認知症予防にもなると言われています。世の中、ゲームが氾濫しています。中でも、昼食の待ち時間でも、ゲームに熱中する人が実に多いことか。中国四千年の歴史がある囲碁は、人間の闘争本能から生まれた戦うことの奥深さを物語っていると思われまふ。

子供から、お年寄りまで一緒に楽しめるゲームとしての囲碁は、その戦い方について、以前は、歴代の囲碁の大家と言われた先生方の戦法を学んできましたが、最近ではAIの戦法が普及し、プロ棋士もこれを参考にするようになりました。AIは全て過去のデータの七十万局を網羅しており、人間が一生涯で対局する数をはるかに超えているので、データの

るかに超えているので、データのにはとても及びません。AIはそのデータから学習するというからすごいというしかありません。最近では、SNSでも囲碁が楽しめる若い世代の普及も進んでいますが、年寄と子供が対戦して、勝った負けたの楽しみ方とともにコミュニケーションができるのも、趣味としての醍醐味ではないでしょうか。

## 美術部門

### 第十三回総合作品展に思う

鈴木 茂

第十三回総合作品展を、令和元年九月十三日(金)から十五日(日)まで境総合文化センターで三日間開催しました。三日目には、歌謡部門、茶道部門の開催もあり、大勢の方々に見ていただくことができました。展示方法は順送りとのことでしたが、出品数の都合で少し変わりましたが、展示室に入り、すぐ目に入って来たのがフアイトいっぱいの子猫の水墨画、次々内容濃い作品の紫墨画でした。境水彩画会と同じ展示室でした。出品数も多く、色彩も豊かで好評でした。

境木彫りの会、木箱や金など平面彫りに加え、透し彫りなど多くみられれば、もっと楽しいと思えました。

上州ひょうたんの会、ひょうたんに絵付けや、漆塗りと見栄もありますが、ランブシエードの工夫が別世界へ案内してくれました。フラワーアレンジメント華、壮大な花の草原に、昇る満月のスケール

## 伊勢崎市文化協会へ新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。また、部門活動報告にありますように、一年を通して各部門が精力的に様々な行事を行っています。各地域で活動なさっている皆様も加入を検討してみたいかがでしょうか。

### 《入会資格》

十名以上で組織する団体であり、常任理事会で承認を得て会員となります。

### 《部 門》

- |       |       |
|-------|-------|
| ①美術   | ②書道   |
| ③写真   | ④華道   |
| ⑤茶道   | ⑥文学   |
| ⑦音楽   | ⑧歌謡   |
| ⑨邦楽舞踊 | ⑩吟剣詩舞 |
| ⑪民謡民舞 | ⑫郷土芸能 |
| ⑬洋舞   | ⑭自然   |
| ⑮諸芸   |       |

の十五部門があります。皆様の活動内容にあった部門にご加入の希望をお願いいたします。

### ○お問い合わせ・入会の申し込み先

伊勢崎市文化協会事務局  
伊勢崎市役所経済部  
文化観光課内  
TEL 2412758

### 【発行の経緯】

平成19年5月25日に旧4市町村の文化協会の合併に伴い、伊勢崎市文化会館にて設立総会を行い、新生伊勢崎市文化協会が誕生した。これに伴い、平成20年度より「文化協会だより」を発行。平成24年度には創立5周年記念文化祭の開催に伴い、記念号を発行するにあたり、「文化いせさき」と名称を変更した。

- 平成20年度「文化協会だより」第1号
- 平成21年度「文化協会だより」第2号
- 平成22年度「文化協会だより」第3号
- 平成23年度「文化協会だより」第4号

- 平成24年度「文化いせさき」第1号  
※創立5周年記念文化祭記念号
- 平成25年度「文化いせさき」第2号
- 平成26年度「文化いせさき」第3号
- 平成27年度「文化いせさき」第4号

- 平成28年度「文化いせさき」第5号
- 平成29年度「文化いせさき」第6号  
※創立10周年記念文化祭記念号
- 平成30年度「文化いせさき」第7号
- 令和元年度「文化いせさき」第8号
- 令和2年度「文化いせさき」第9号

## 書道部門

### 第十三回書道展を終えて

丸橋 孝男

第十三回書道展を令和二年七月七日(金)から九日(日)まで、境

原ノ城窯、大きな壺が数点あり古民家なども、皿などの絵付けには、もう一工夫あれば更によかったと思いました。美術部門では、今回、他の展示会等と重なり、欠場をやむなくされたサークルもあり、残念に思います。次回は、この様な事が起きない事を祈ります。



# 令和2年度伊勢崎市文化協会団体名簿

(令和2年4月1日現在)

	団体名	代表者	会員数	
郷土芸能	24 東町囃子保存会	岡本 宇正	50	
	25 女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	28	
	26 栄町祭礼囃子保存会	飯島 義雄	112	
	27 三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	40	
	28 上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46	
	29 剛志民謡保存会	森村 清志	17	
	30 赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	44	
	31 三室町子ども八木節会	小暮 利明	22	
	32 上州八木節西小保方匠	牛腸 一英	11	
	33 美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30	
	34 稲間組屋台・屋台囃子保存会	板垣 有一	20	
	35 上州国定睦	井上 潤	10	
	36 福島町八木節保存会	本木 栄一	25	
	37 富塚町銭太鼓愛好会	岡田 きみ子	27	
	38 群天星(ムリティンブシ)	鈴木 円	24	
	合計		1,103	
	洋舞	1 JAあずまフラクラブ	細野 京子	13
		2 フォークダンス境	坂本 悦代	9
3 プルメリア		柳澤 節子	10	
4 レクダンス三郷		永島 トシ江	20	
5 ハイビスカス豊受		田中 節子	13	
6 Hula Hala 0 Na Pua Lehua		福島 きり奈	26	
7 フラナニ・ブアリリレファ		井上 和代	10	
8 フラナニ・ハイビスカス赤堀		斎藤 千代子	10	
9 ヒナノ		野田 美栄子	12	
10 ピカケ伊勢崎		春川 庸子	15	
11 Puanani		鳥越 美智子	14	
12 レイモミ		高橋 文江	14	
13 三郷小町		加藤 和江	13	
14 ロゼラニ		多賀谷 道代	10	
15 フラサークルパカラナ		宮野 久美子	9	
16 フラナニブエオネ		小鮒 英子	8	
17 ナーブァ		渡邊 かおる	13	
18 'Ohana Lokahi		上岡 文子	65	
19 名和ナイスフラレディース		小暮 智枝	18	
20 フラグループ Nā Lei		富田 幸子	10	
21 カブア		桑原 郁代	12	
22 ミノアカ		田島 佐江子	11	
23 レクダンスKSG		菊池 みよ子	10	
24 殖蓮プルメリア		清水 芳子	27	
25 Pasion Peru		竹原 ドラ	18	
合計		393		
自然	1 日本野鳥の会群馬伊勢崎分会	高田 恒安	50	
	2 日本盆栽協会伊勢崎支部	阿久澤 嘉昭	20	
	3 伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	20	
	4 伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司	57	
	5 伊勢崎市蘭蕙愛好会	久保田 正	13	
	6 伊勢崎山草会	細谷 一美	16	
	7 伊勢崎菊花同友会	小島 勝	21	
	8 伊勢崎石仏の会	吉田 博行	12	
	9 境山草会	瀬井 明	17	
	10 うえはす山野草の会	小野里 美恵子	14	
合計		240		
諸芸	1 あずま赤堀囲碁愛好会	小保方 重吉	19	
	2 伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	17	
	3 伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12	
	4 伊勢崎佐波囲碁会	村岡 武雄	65	
	5 境囲碁研究会	天田 育宏	30	
合計		143		
総計	212団体	5,790名		

	団体名	代表者	会員数	
邦楽舞踊	13 美也珠会	小島 美也子	10	
	14 日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	31	
	15 樹鳳会	浅見 由紀恵	10	
	16 久紀の会	児島 美江	27	
	17 グループことほぎ	尾内 能利江	15	
	18 好風会	角田 庸子	10	
	19 やなぎ会	高橋 ゆり子	10	
	20 いせさき能実行委員会	斎藤 美智子	12	
	合計		379	
	吟剣詩舞	1 寿流 日舞 詩舞 鶴登加会	山下 美津子	14
		2 寿流 日舞 詩舞 鶴久紀会	原 けい子	27
		3 心彰流 愛吟詩道会 伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
		4 吟道館流 伊勢崎吟詠会 緑陰の集い	関 勝巳	50
		5 吟道館流 上武吟詠会 那波の会	石田 英生	35
		6 美扇流 鶴緑会	金井 キヨミ	3
		7 吟道館流 上武吟詠会 瑞雲の会	岡林 延夫	15
		8 吟道館流 伊勢崎吟詠会 芙蓉の会	小林 清浩	17
		9 吟道館流 伊勢崎吟詠会 東吟の集い	塩島 弘子	10
		10 吟道館流 伊勢崎吟詠会 華の会	村田 勇	35
		11 心彰流 剣舞剣影会	斎藤 ひとみ	10
12 岳心流 東栄諏訪美会		諏訪 勝美	15	
13 心彰流 あずま吟詠会		小暮 利明	15	
14 心彰流 あずま剣詩舞教室		白川 節子	10	
15 菊水流 菊崇会		田村 雅代	9	
合計		274		
民謡民舞	1 旭星会	高野 邁	28	
	2 旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	15	
	3 慎星会	鎗木 慎紀子	13	
	4 天秋会	大谷 ヒデ子	10	
	5 天秋会江原教室	江原 昌代	10	
	6 秀月会	堀川 茂	10	
	7 山輝権会	森村 米多	10	
	8 マズルカFD(フォークダンス)茂呂	松本 春野	22	
	9 登三善会	浅沼 利子	10	
	10 宮子民謡会	臂 勝代	5	
	11 優乃会	水島 正枝	11	
	12 鳳雅会	清水 洋子	8	
合計		152		
郷土芸能	1 八斗島民芸保存会	松本 好夫	23	
	2 宮子町八木節保存会	井上 清行	25	
	3 伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	小野田 安子	20	
	4 三郷八木節保存会	糸井 清春	22	
	5 神谷八木節会	小林 好夫	25	
	6 赤堀郷友会	金子 英保	18	
	7 田下八木節会	今井 照彦	22	
	8 上武士八木節同好会	池田 治年	17	
	9 上瀨名八木節保存会	長沼 市治	17	
	10 百々親友会八木節部	菊池 広文	65	
	11 馬場八木節愛好会	持木 三雄	13	
	12 伊勢崎和太鼓	半田 孝	30	
	13 荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20	
	14 下蓮町安来節保存会	佐藤 貢	10	
	15 木遣り保存会	関口 二三司	50	
	16 千本木龍頭神舞保存会	丸橋 操	27	
	17 南北千木町屋台囃子保存会	鈴木 宣男	35	
	18 伊勢崎銭太鼓愛好会	重田 玲子	25	
	19 西久保三おはやし保存会	常木 静子	15	
	20 上州あずま太鼓会	須賀 正文	39	
	21 氣楽流柔術保存会	水科 壽美	30	
	22 下瀨名獅子舞保存会	大橋 増一郎	18	
	23 東新井獅子舞保存会	高橋 一豊	31	

	団体名	代表者	会員数
文学	1 みさと短歌会	吉沢 典子	7
	2 境図書館短歌会	光山 半彌	18
	3 群馬童話研究会	星 瑛子	13
	4 鈴木惣太郎を守る会	新藤 暁旦	40
	5 紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	6 伊勢崎市民俳句会	真鍋 俊夫	24
合計		122	
音楽	1 伊勢崎アコーディオンサークル	中野 靖巳	15
	2 伊勢崎市民吹奏楽団	境野 智章	61
	3 アイオーしんきん音楽部	桑原 美生	17
	4 ISESAKI SMC BIG BAND	西野目 心吾	34
	5 サウンドシャワー	大澤 敏明	15
	6 早川歌謡バンド	吉野 宗治	25
	7 合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	8 伊勢崎混声合唱団	矢内 三四卯	20
	9 伊勢崎コーラス・ノイエ	今 啓子	36
	10 境女声コーラス水仙	吉岡 千津子	27
	11 コーラス・ヴィオラ	伊藤 喜美代	18
	12 伊勢崎第九を歌う会	尾内 本典	80
	13 ルーエクラブ合唱団	池田 昌子	23
	14 あすなるハーモニカクラブ	石橋 久	18
	15 凜	平田 康子	15
	16 女声コーラスめだか	鎧塚 福栄	25
	17 オカリナ・響	田代 澄江	12
	18 コールひまわり	大井 麗子	15
	19 コール ぼこ・あ・ぼこ	田中 悦子	28
	20 あんさんぶる22(アンサンブルウエンティーター)	下田 清子	13
合計		526	
歌謡	1 あずま白樺会	船戸 省三郎	25
	2 櫻桃会	植木 昭一	160
	3 ひまわり歌謡友好会	川田 キチノ	68
	4 ミュージックさかい	田村 文司	11
	5 清水歌謡クラブ	前野 政一	92
	6 白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	139
	7 大国歌謡クラブ	荒井 通好	63
	8 NPO伊勢崎市福祉歌謡連合会	清水 巖	108
	9 植木歌謡教室	植木 春江	32
	10 ラッキーなかよし会	伊藤ひろみ	33
	11 TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	28
	12 歌謡教室ひばり会	田島 初美	20
	13 歌謡教室チェリー	奥積 房江	31
合計		810	
邦楽舞踊	1 伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	120
	2 祐妃会	川島 かずみ	20
	3 悦紅会	飯塚 悦子	10
	4 扇優会	石倉 優美子	22
	5 いづみ会	藤枝 敏子	8
	6 扇紫江会	林 君江	15
	7 吉三会	飯野 弘美	10
	8 玉藻会	佐俣 玉江	10
	9 若駒会	星野 良枝	10
	10 文寿会	高山 文代	7
	11 舞踊松葉会	田所 陽子	14
	12 琴誦会	井上 明子	8

	団体名	代表者	会員数
美術	1 紫墨会	児島 貞二郎	13
	2 境水彩画会	田島 敏宏	16
	3 境きりえの会	柿沼 スミ江	6
	4 上州ひょうたん会	原 角雄	50
	5 境フラワーアレンジメントサークル	斎藤 美智子	33
	6 押し花サークル・ラベンダー	高橋 史子	4
	7 境木彫りの会	須藤 尚真	12
	8 フラワーアレンジメント華	茂木 徳子	15
	9 原ノ城窯	鈴木 茂	13
	10 天然石ビーズアクセサリーHANA	近藤 悦子	10
合計		172	
書道	1 清月書道会	福田 令子	40
	2 書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3 書藝研究社	清水 いせ子	30
	4 円かな書会	栗原 ウメ子	18
	5 玉葉会	石橋 満津枝	17
	6 昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7 祥山書会	神宮 まり子	11
	8 木村かな書道会	木村 和子	13
	9 書宝会	松本 近史	10
	10 雪月華書道会	高野 千春	10
	11 草友会	高柳 託治	9
	12 大蛙洞書道会	大貫 八生	20
	13 東光書道会	新井 哲郎	40
	14 書遊会	大橋 光義	4
	15 瀧名印社	大貫 勝利	13
	16 翠香会	根岸 幸子	30
	17 白玄会	栗原 夏雄	16
	18 書道研究聖筆会	星野 明	10
	19 利根書会	町田 直美	13
	20 松友会	井田 真一	14
合計		398	
写真	1 日報連 伊勢崎支部	岡村 文夫	4
	2 豊受写真クラブ	田部井 正夫	10
	3 写団国定	神田 武	7
	4 写団チングルマ	橋本 智明	18
	5 ほのぼの写真クラブ	前野 龍一	10
	6 P.C アベックス	池田 育兄	15
	7 写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	50
	8 [写心塾]A.P.C.	秋山 曄	11
	9 いせさき写真友の会	高澤 良彦	20
合計		145	
華道	1 伊勢崎いけばな協会 桜	長谷川 恭子	100
	2 伊勢崎いけばな協会 松	永島 治子	100
	合計		200
茶道	1 伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	庭野 尚子	123
	2 伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 アグリ	120
	3 伊勢崎茶道会表千家	小林 昭枝	210
	4 伊勢崎茶道会裏千家	大竹 里子	200
	5 伊勢崎茶道会江戸千家	有川 よし子	30
	6 煎茶道東阿部流	新井 幸子	22
	7 煎茶道方円流	丹波 真知子	28
合計		733	

# 令和元年度伊勢崎市文化協会役員名簿

役職	氏名	所属部門
会長	諏訪 勝美	吟剣詩舞
副会長	新井 哲郎	書道
〃	児島 貞二郎	美術
〃	丸橋 孝男	書道
〃	関 勝己	吟剣詩舞
書記	星 瑛子	文学
〃	石倉 優美子	邦楽舞踊
会計	川島 かずみ	邦楽舞踊
〃	大和 洋司	自然
監事	清水 巖	歌謡
〃	糸井 清春	郷土芸能
常任理事	茂木 徳子	美術
〃	橋本 智明	写真
〃	岡村 文夫	写真
〃	長谷川 恭子	華道
〃	永島 治子	華道

役職	氏名	所属部門
常任理事	中島 アグリ	茶道
〃	有川 よし子	茶道
〃	吉沢 典子	文学
〃	池田 昌子	音楽
〃	石橋 久	音楽
〃	植木 昭一	歌謡
〃	船戸 省三郎	歌謡
〃	原 けい子	吟剣詩舞
〃	大谷 ヒデ子	民謡民舞
〃	清水 洋子	民謡民舞
〃	小林 好夫	郷土芸能
〃	永島 トシ江	洋舞
〃	細野 京子	洋舞
〃	小野里 美恵子	自然
〃	菊地 正之	諸芸
〃	村岡 武雄	諸芸

## 伊勢崎市文化協会会則

- (名称)  
第1条 本会は伊勢崎市文化協会と称する。
- (目的)  
第2条 本会は伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的とする。
- (事業)  
第3条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。  
(1)各種文化団体間の連絡、情報交換、親睦に関すること。  
(2)各種文化団体の行う事業の後援、奨励に関すること。  
(3)文化的研修に関すること。  
(4)その他文化活動に関すること。
- (会員)  
第4条 本会は、次の会員をもって組織する。  
(1)会員 本会の目的に賛同する文化団体。  
(2)賛助会員 本会の目的、事業に賛同する個人、法人、団体。
- (入会)  
第5条 本会に入会しようとする団体は10名以上で組織する団体であることとし、会長は申し出のあったとき、常任理事会に報告し、承認を得るものとする。  
2 賛助会員は、会長に入会を申し出ることにより会員となる。
- (退会)  
第6条 本会を退会しようとする会員は、退会届を会長に提出するものとする。  
2 会長は、本会の会員が会員として不適当と認めるときは、常任理事会にはかり、退会させることができる。
- (部門)  
第7条 本会に次の部門を置く。  
①美術 ②書道 ③写真 ④華道 ⑤茶道 ⑥文学 ⑦音楽 ⑧歌謡 ⑨邦楽舞踊 ⑩吟剣詩舞 ⑪民謡民舞 ⑫郷土芸能 ⑬洋舞 ⑭自然 ⑮諸芸
- (役員)  
第8条 本会に次の役員を置く。  
①会長 1名 ②副会長 4名 ③書記 2名  
④会計 2名 ⑤監事 2名 ⑥常任理事 若干名  
本会には前項の役員のほかに顧問をおくことができる。  
顧問は、会長が委嘱する。
- (理事)  
第9条 理事はすべての構成団体から1名選出し、総会の代議員となる。

- (常任理事の選出)  
第10条 常任理事は、部門ごとに理事の中から選出する。その選任数は各部門毎に2名を基本とし、構成員1,000名を超える部門については、1,000名を超えた構成員500名につき1名を加えた数の常任理事を選任する。
- (役員選出)  
第11条 役員は常任理事の中から常任理事会で選出し、総会において承認する。ただし、会長及び監事は常任理事以外のものをもって充てることができる。
- (役員職務)  
第12条 役員職務は以下のとおりとする。  
①会長は本会を代表し、会務を総理する。  
②副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。  
③書記は本会の庶務事務にあたる。  
④会計は本会の会計を掌る。  
⑤監事は会務を監査し、総会に報告する。  
⑥常任理事は会務に参与し、その執行にあたる。
- (役員任期)  
第13条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員を生じた場合は第10条並びに第11条の規定に従い欠損を補充する。その任期は前任者の残任期間とする。
- (会議)  
第14条 本会の会議は次のとおりとする。  
(1)役員会 会長・副会長・書記・会計・監事からなり会長が必要に応じて召集し、会の重要事項を協議する。  
(2)常任理事会 常任理事からなり会長が必要に応じて召集し、会の運営・事業等について協議し、また執行にあたる。  
(3)総会 代議員(理事)からなり、毎年1回以上開催し、予算、決算、事業計画等を審議する。
- (会費)  
第15条 本会の会費は各団体会費年額3,000円とする。  
2 賛助会員の会費は年額とし、1口10,000円とする。
- (会計年度)  
第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
- (会則改正)  
第17条 本会の会則改正は総会において決定する。

付則  
この会則は平成19年5月25日から施行する。  
この会則は平成23年5月20日から施行する。

# 令和元年度賛助会員名簿一覧表

順不同・敬称略

No.	団体名/会社名/個人名	住 所	代 表 者	電話番号
1	カラオケスタジオ ミナミ	伊勢崎市境上矢島218	南 和夫	76-4129
2	国定窯	伊勢崎市上田町172-10	関口 宗平	62-2881
3	伊勢崎ユネスコ協会	伊勢崎市寿町198-5	設楽 孝吉	63-0988
4	(有)ワイズプランニング	伊勢崎市今泉町一丁目1099	山口 善弘	24-5033
5	書道研究 墨鳴会	伊勢崎市馬見塚町3262-13	丸橋 鳴峰	32-8472
6	東光書道会	伊勢崎市境米岡685	新井 哲郎	74-0533
7	紫墨会	伊勢崎市昭和町1950-1	児島貞二郎	25-4025
8	ナイトスポット梵	伊勢崎市上諏訪町1257-2	久保美由紀	23-6867
9	華乃会	伊勢崎市上田町171-23	茂木 徳子	63-1627
10	伊勢崎プリオパレス	伊勢崎市昭和町3827	松井 研三	25-4122
11	ふろーらり ねぎし	伊勢崎市宮子町3634-9	根岸 一博	24-4222
12	(株)シンエイ	伊勢崎市連取町2355-5	清水 秀明	24-7245
13	三橋寿司	伊勢崎市昭和町4071	阿久津幸次	23-8069
14	カワバタ設計	伊勢崎市八幡町45-2	川端 俊明	25-8756
15	(有)保坂工務店	伊勢崎市波志江町3667	保坂 正男	24-1905
16	佐波伊勢崎農業協同組合	伊勢崎市連取町3096番地1	代表理事 組合長 森村 孝利	20-1220
17	西ひとみ社会保険労務士事務所	伊勢崎市田部井町1-1166-20	西 ひとみ	61-0570
18	(有)平井産業運輸	伊勢崎市平井町1082	磯 定雄	62-4102
19	(株)桜井土建	伊勢崎市三室町2235	櫻井 敏一	62-3650
20	(株)田村建設	伊勢崎市小泉町450-4	田村 知幸	63-3333
21	(有)諏訪精工	伊勢崎市国定町2-2065-3	諏訪 勝美	62-0126
22	ほしの呉服店	伊勢崎市国定町1丁目1250-10	星野 勝正	63-0144
23	(有)品田石材	伊勢崎市国定町2-1854-6	品田 玉顕	62-0240
24	魚や大水	伊勢崎市田部井町2-858-1	諏訪 弘	20-8338
25	(有)飛翔	伊勢崎市今井町410-2	西村 敬右	25-2018
26	かず歯科診療所	伊勢崎市国定町2-2002-3	大山 和寿	62-9186
27	日本舞踊あゆみ会	伊勢崎市小泉町204-2	佐野 恭子	63-3292
28	美也珠会	伊勢崎市田部井町1-1033-3	小島 美也子	62-3496
29	川島美術印刷(株)	伊勢崎市中町760	川島 和美	25-8111
30	川島 和美	伊勢崎市今井町377	川島 和美	26-7580
31	フローリスト みね	伊勢崎市曲輪町15-10	藤井 栄	23-3628
32	清水生花店	伊勢崎市三光町7-23	清水 秋夫	26-8741
33	橋本 千加子	伊勢崎市境栄130-3	橋本 千加子	74-0617
34	大成ブロック興業(株)	伊勢崎市西久保町1丁目418	田所 武久	62-1575
35	(株)三共家具	伊勢崎市境伊与久3277	川端 和代	76-3744
36	(有)ユニバースサービス	伊勢崎市境伊与久3277	川端 巖	76-3023
37	(株)メガネのカイガン	伊勢崎市境女塚2-1	山崎 幸一	74-1681
38	ふたば美容室	伊勢崎市野町27-4	町田 二葉	62-5914
39	八代肉店	伊勢崎市大手町4-8	塚田 晋一	25-1960
40	(株)アクト印刷	伊勢崎市下触町911-1	阿久津泰弘	62-0460
41	栗原軽貨物	伊勢崎市大手町26-4	栗原 章二	25-1390
42	(有)田澤商店(セブンイレブン)	伊勢崎市田部井町2丁目乙1262	田沢 透	62-0018
43	東観光バス(株)	伊勢崎市境上洲名1186	中島 俊幸	76-5100
44	細谷印刷(有)	伊勢崎市今泉町2-939-5	細谷 昌孝	25-0193
45	小暮法律事務所	伊勢崎市本町2-10	小暮 清人	20-1107
46	プラザアリア	伊勢崎市喜多町147-1	鷹巢 修	25-0606